

「廣井勇を顕彰する会」北海道視察旅行・番外編

廣井勇を顕彰する会 副会長 右城 猛

まえがき

「廣井勇を顕彰する会」北海道視察旅行では、廣井勇に直接関係ないことも見聞してきた。それらについて報告する。

クラーク像

北海道大学札幌キャンパスの南門を入ると、古川記念講堂の前に「Boys、Be Ambitious」で有名なクラーク像があった。

マサチューセッツ農科大学の学長であるウィリアム・S・クラークが札幌農学校に初代教頭(事実上の校長)として招かれた。滞在した期間はわずか8ヶ月に過ぎないにも関わらずクラークが遺した農業、植物学、自由主義、博愛主義、フロンティア精神は大きく、北海道大学に胸像が建ち、札幌農学校の象徴となっている。



北海道大学のクラーク像

北海道庁旧本庁舎

初日最後の見学先は、赤れんがの「北海道庁旧本庁舎」。1888年に建てられたアメリカ風ネオ・バロック様式の建築。館内には北海道の歴史をたどる資料が展示されていた。

展示パネルには、『北の大地は「松前蝦夷地」と呼ばれていたが、

1869年(明治2年)に函館府に代わって開拓使が設置され、「北海道」と名付けると共に、開拓使に強力な権限と予算を与え、首府を札幌に起き、その象徴として開拓使札幌本庁舎を建設した。開拓使が置かれたときの人口は6万人弱であったが、1879年(明治12年)には20万人に達した』という説明があった。

現在の北海道の人口は約540万人である。明治以降90倍にもなっている。

明治3年当時の北海道の地図に「高知藩」を見つけた。しかしながら高知藩が置かれているのは、胆振地方(室蘭地域、苫小牧地域)である。高知市と姉妹市の北見は和歌山藩、本山町と姉妹町の浦臼は山口藩となっている。どういことだろうか不思議に思っネットて調べて見た。

明治3年に政府は蝦夷地の警備と開拓を急ぐため、開拓使が直轄する20郡以外を諸藩に分領し支配統治させることにしたが、希望する藩が少なかったので強制的に土地を割り当てて開拓を命じた。高知藩には胆振地方を割り当てた。高知藩は藩を挙げて開墾に努めたが、北海道開拓は開拓使に一本化されることになり明治4年に藩支配は罷免され、僅か2年で撤退を余儀なくされたようである。



北海道庁旧本庁舎



明治 3 年当時の北海道地図

高知市の自由民権運動家武市安哉が浦臼に入植し「聖園農場」を作ったのは明治 26 年、坂本龍馬の甥の坂本直寛(高松南海男)の「北光社」が北見に入植したのは明治 28 年である。明治初期の混乱が落ち着いてからのことである。

札幌ビール園

北海道初日の夕食は、札幌ビール園。サッポロビール博物館を見物した後、ポプラ館で生ビールを飲みながら「生ラムジンギスカン」と丸く薄切りになった「トラディショナルジンギスカン」の料理を堪能した。

ジンギスカンとは羊の肉。子羊がラム、親羊がマトンである。

トラディショナルジンギスカンとは、ラム肉のいろんな部位を凝縮して冷凍スライスしたもの。

一般的には生ラムジンギスカンの方が評価が高いようであるが、私はトラディショナルジンギスカンの方が美味しいと感じた。同じテーブルのメンバーも同じ意見であった。



生ビールで乾杯



ジンギスカン料理を堪能



二次会の七副神商店

二次会は高野広茂会長の案内で、宿泊先の「ホテルサンルートニュー札幌」の近くの居酒屋「七副神商店 狸小路店」へ行った。海鮮囲炉裏焼きの店である。

今年の 2 月に「リッチモンドホテル札幌大通り」に泊まった際に夕食を食べた同じ店であった。まったくの偶然である。

奥沢水源地

二日目の午後、小樽市役所を表敬訪問した後、小樽市奥沢水源地を見学した。大正 3 年に造られた奥沢ダムと勝納川の水を放流するために造られた階段式溢流路(いつりゅうろ)がある。

ダムから溢れた水を、落差約 21m、距離約 100m を 10 段の階段で流下させることで水流を減速させ、護岸などの摩耗を防止している。

階段の縁には長い石と短い石が交互に組み、その隙間から流れ落ちる水がすだれ状になって見

えることから「水すだれ」と呼ばれ、昭和 60 年に「近代水道百選」、平成 20 年には「土木学会選奨土木遺産」に選ばれている。

「水すだれ」を間近に見ることができるのが、奥沢水源地水管橋で、水道橋が一般開放されているこの時期だけということであった。



奥沢水源地の水すだれ



小樽運河



小樽運河

小樽運河散策

手宮公園の後、小樽運河を散策した。

小樽運河は陸地を掘り込んだ運河ではなく、海岸の沖合を埋立て造られたため、地形に沿わせて緩やかに湾曲しているのが特徴となっている。

昭和 61 年、運河は、十数年に及んだ埋立てを巡る論争の末に一部を埋立て、幅の半分が道路となり、散策路や街園が整備された現在の姿に生まれ変わっている。

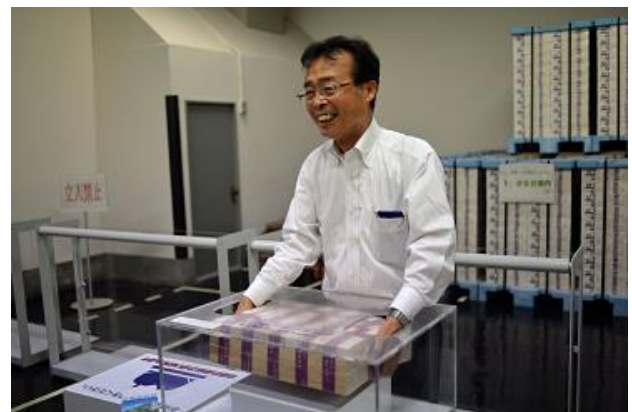
日本銀行旧小樽支店金融資料館

日本銀行旧小樽支店の建物は、1912 年(大正元年)に竣工した煉瓦の上にモルタルを塗ったルネサンス様式。設計は東京駅と同じ辰野金吾。元々は小樽支店であったが、2003 年から金融資料館として使われている。

資料館には、第 2 次世界大戦以降の実物の紙幣などが展示されていた。



日本銀行旧小樽支店



「1 億円を持ち上げてみよう」のコーナー



旧国鉄手宮線跡地

旧国鉄手宮線跡地

日本銀行旧小樽支店金融資料館のすぐ西側に旧国鉄手宮線跡地があった。

小樽駅から手宮駅まで 2.8km 区間の手宮線は、1880 年に国内 3 番目、道内では初の鉄道として開通。1985 年に廃線となったが、小樽の観光名所の一つとなっている。

郷土料理亭 杉の目本店

2 日目の夕食は、札幌市すすきのの「きょうど料理亭 杉ノ目本店」。昭和 38 年創業の北海道を代表する郷土料理店。ここで懐石料理を食べる。



きょうど料理亭で会席料理

北海道大学植物園と宮部金吾記念館

北海道大学植物園の園内には、廣井勇と同じ農学校 2 期生の宮部金吾記念館がある。記念館には、初代園長・宮部金吾が学生時代に使用していたノートや植物採集記録、愛用していた顕微鏡等が展示されている。

3 日目の午前中は、北海道大学植物園と宮部金吾記念館を視察する予定にしていたが、昨日の台風 21 号の影響で臨時休園となっていた。

台風 21 号は 5 日の未明から早朝にかけて北海道の西海上を通過し、各地で電柱が倒れたり建物が損壊したりする被害が出た。

札幌市でも最大瞬間風速 32.8m を観測し、屋根の一部がはがれるなど建物被害は 40 件、倒木が 200 件に上った。植物園でも相当大きな被害が出たのだろう。残念。

羊ヶ丘展望台

午後の予定を繰り上げて、クラーク博士像がある羊ヶ丘展望台へ行った。

もともとクラーク博士像は、北海道大学構内にある胸像のみであったが、有名なポプラ並木の景観とこの胸像を目的に観光客が年々増加し、いわゆる観光公害現象が生じたことから、昭和 48 年に学術研究のさまたげになることから、北海道大学は観光バスの構内乗り入れを禁止した。

北海道観光協会は、北海道開拓の原点ともいえるフロンティアスピリットを全国に伝えていきたいという思いから、羊ヶ丘展望台に新しいクラーク博士を建立したといわれている。

像の作者は、北海道女子短大教授の坂 坦道（さか たんどう）氏。

昭和 51 年 4 月 16 日、ウィリアム・スミス・クラーク博士銅像『丘の上のクラーク』の除幕式が執り行われている。

この年はクラーク博士の来道 100 年でまたこの日は 100 年前に島松で別れの言葉「ボーイズ・ビー・アンビシャス」が叫ばれた日でもある。



クラーク博士銅像『丘の上のクラーク』



エルムガーデンの入り口



羊ヶ丘に放牧された羊たち



エルムガーデンでの会食風景

昼食エルムガーデン

北海道視察の最後の食事は、札幌市中央区南 13 条西 23 丁目にある和食レストラン「エルムガーデン」。高級料亭のような店構え。それもそのはずネットで調べて見ると、エルムガーデンの前身は、高級料亭「エルム山荘」。かつて田中角栄、大山康晴、長嶋茂雄などが来ていた店である。

美しい庭園には「はりまや橋」とよく似た朱色の太鼓橋があり、今夜この店で結婚披露宴を挙げるカップルが前撮りをしていた。

料理は、元高級料亭だけあって豪華であった。

先付け、前菜、椀物、焼物と次々とでてきた。最後のデザートかと思ったら中皿。その後の強肴に鴨ロース野菜味噌焼き。これがメインディッシュかと思ったら、鯛茶漬が出てきた。そして最後に「水無月甘味八寸」のデザート。

料理を食べ終わるのに 2 時間かかった。を豪華すぎる昼食であった。

あとがき

旅行期間中、台風 21 号の影響が心配されたが最終日の北海道大学植物園以外は天候にも恵まれ予定通りの視察ができた。

私たちが千歳空港を飛び立った 11 時間後に北海道胆振東部地震があり、厚真町で震度 7、札幌市深度 5 強から 6 弱の揺れを記録し、大きな被害が発生した。

この地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われたみなさまへ心よりお見舞い申し上げます。

また、被災地等におきまして、救援や復旧支援などの活動に尽力されている方々に深く敬意を表しますとともに、被災された方々と被災地域の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。